

IAUD Newsletter vol.7 第4号(2014年8月号)目次

- 1.手話用語 SWG 明晴学園の見学及び座談会実施報告..... 1
- 2.第5回国際UD会議 2014 in 福島&東京 開催のお知らせ..... 4
- 3.第6回UD検定・初級講習会&検定試験 申込み受付中..... 5
- 4.特別ワークショップ 48時間デザインマラソン in 東京 開催のお知らせ.....5
- 5.IAUD 9月の行事予定.....6

手話を使った教育現場を理解

活動報告:手話用語 SWG 明晴学園の見学及び余暇のUDPJとの座談会開催

標準化研究WGのサブ、手話用語サブワーキンググループ(以下手話用語SWG)は、「使い手側、作り手側双方の視点で課題の分析と対策立案」をテーマに活動を進めています。

使い手側、作り手側双方の視点を深めるために、6月13日(金)に学校法人明晴学園(東京・八潮)を見学しました。また同日、昨年10月に余暇のUDPJと実施した座談会のまとめと課題分析を行いました。

今号のNewsletterでは、明晴学園の見学の様子と座談会の内容を手話用語SWGメンバーの東裕佑氏に報告していただきます。



明晴学園見学の様子

日本初の手話の学校

学校法人明晴学園は2008年4月に、日本で初めて、聞こえない子どもが、第一言語として手話、第二言語として書記日本語で学ぶ「手話の学校」として創立されました。

見学には手話用語SWGメンバー5人が参加し、榎(かや)陽子校長ご案内のもと、幼稚部～小中学部の教室や学習風景を見学し、その後は学校における手話教育について質疑応答を行ないました。



明晴学園校舎



榎校長より説明を受けるメンバー

見学の冒頭では榎校長より、「聞こえない子どもではなく、目の子どもとしてプラスに捉えること」を大切にしているとのことをお話をいただきました。

一方的な教育の提供ではなく、子どもたち一人ひとりが興味を持つことを尊重し、成長をサポートしようとする印象を受けました。

また、パソコンや動画編集ソフトといった ICT ツールも多く導入されており、子どもたちが、手話による映像作品を作り、お互いに映像作品を見せあい、意見交換しながらより良いものに作り上げようとする姿勢がうかがえました。

見学の後、手話科の森田先生に手話に対する考え方や手話による教育について何点かお聞きしました。



見学した教室

・基本的にわかりやすい手話の表し方:

片方の手は意味を表し(有標)、もう一方の手は添える(無標)。両手がそれぞれ別の意味を表す手話は表現しにくく、覚えるのも難しいため、普及しにくい要因になりうる。

・子どもたちと手話でコミュニケーションする際に気をつけていること:

例えば、手話化されていない専門用語(例:理科の授業における「甲殻類」)に対して、CL※1や指文字と組み合わせたりして伝えることがある。

仮に「甲殻類」に対する新しい手話ができても、日本語「甲殻類」の使用頻度が少ないので、その表現が何を指すのかが直感的にわかりにくいことがある。

・音韻変化(手話と音声の共通点)について:

聴者は、例えば洗濯機「せんたくき」を発音しやすいように「せんたつき」と言うことがある。これと同じことが手話にも見られる。※2

※1: 英語「Classifier」の短縮表現。手話の一番基本的な部分で、名詞、形容詞、動作・行動を表す動詞、これらを手話だけでなく手の動きの強弱や表情の組み合わせなどにより具体的に表現できる。

※2: 「7時まで」を例に、下記のとおり「1つ1つ手話で表現したもの、まとめて手話表現したもの」をご覧ください。後者は日本手話使用者によく見られる表現例です。



①

②

③

④

1つ1つ手話で表現する例



①

②

まとめて手話表現する例

よりわかりやすい手話表現の検討へ

今回、明晴学園を通して手話を使った教育現場を知ることができたこと、手話科の先生のお話を聞いたことは、非常に参考となりました。

IAUD 内の手話化活動において、本当に必要な専門用語は何であるかを見極め、よりわかりやすい手話表現を検討することを目指していきたいと考えています。

手話のあり方について余暇の UDPJ と議論

手話用語 SWG は、2013 年度には現状把握の活動年度と位置づけ、聞こえる人、聞こえない人それぞれが感じている「手話のあり方」の調査と深掘りをテーマに取り組んでまいりました。

その一環として、2013 年 10 月 18 日(金)に余暇の UDPJ 及び手話用語 SWG 合同での座談会を開催し、手話のあり方について率直な意見を出し合い議論しました。

当日は参加者 12 名(聴者 6 名、聴覚障害者 6 名)が 4 名編成の A・B・C の 3 グループに分かれて、それぞれ体験談を語りながら議論を進めました。

手話の必要性、重要性を再認識できた一方、日々生まれる新しい手話をいかに普及させていくのか、新しい手話を知らない聴覚障害者も多数いるという課題も浮き彫りになりました。

座談会后、参加者 12 名(聴者 6 名、聴覚障害者 6 名)に行ったアンケート調査では、以下のような回答が得られました。

<プログラムの所要時間は適当でしたか？>

「適切であった」 50%

「もっと長い方がよい」 50%

<総合的に判断して、この座談会の満足度を教えてください。>

「満足」 81.8%

「やや満足」 18.2%

<意見・感想など(主なものを抜粋)>

・根底には、まずは手話に対する理解、浸透が大切だと改めて痛感しました。

・手話をより親しみやすくするには、わかりやすい手話表現を目指すだけでなく、例えば、手話を知る場を増やす、モチベーションを上げる、小さいころから手話を知る教育を盛り込むなどの視野、工夫が必要と感じました。

・座談会の中で、「手話をもっとメディアに出す」という案は、手話の存在を広く知ってもらうために有効だと思いました。いつでもどこでも手話を目にする機会が増えていけば、英語と同じような感覚で普及につながる可能性もあると思いました。

・とても面白く有意義な座談会でした！

・「手話」というピンポイントなテーマに絞ったことで、聴者メンバーも改めて手話について考えることができたのではないのでしょうか。



Cグループの座談会結果

4つのキーワードで課題分析

その後、手話用語 SWG の定例会で改めて座談会での意見内容を整理し、「受付窓口での対応」「インフラ・環境」「手話の普及」「コミュニケーション」と大きく4つのキーワードに分類し、問題点や課題などを整理しました。

受付窓口での対応

インフラ・環境

手話の普及

コミュニケーション

具体的には、窓口で手話による説明がないので理解しにくい、事故や病気などの緊急時に手話で対応できない、手話がなかなか普及しないので覚えにくい、聴者の手話レベルによっては聴覚障害者と手話によるコミュニケーションがとれない、といった点です。

聴者と聴覚障害者がお互いに共有できる目的を明確にすることが手話の普及、コミュニケーションの活性化につながってくると思います。

今後は対策の立案へ

手話を切り口に、誰でも安心して使って頂く製品・サービスの提供を検討している手話用語 SWG として、手話による教育現場から得たこと、昨年の座談会の分析結果と合わせ、今後は課題の分析と対策立案を行なっていきます。(了)

手話用語 SWG メンバー募集中！

手話用語 SWG は、一緒に活動くださるメンバーを募集しています。ご関心いただける方は IAUD 事務局までご連絡ください。



お得な事前参加登録受付中！

第5回国際UD会議 2014 in 福島&東京 開催のお知らせ

11月9日(日)から13日(木)に開催する「第5回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2014 in 福島&東京」の参加登録を開始しました。

福島県で11月9日(日)と10日(月)に開催するプレカンファレンスでは、「UD のグローバル展開～復興と再生のUD～」をテーマに、被災地の視察や既存の地場産業の現状や問題点を調査研究するフィールドサーヴェイや、市民にも親しみやすい公開ワークショップなどを実施します。

また、11月11日(火)から13日(木)まで、東京国際交流館(東京・台場)で開催する本会議では、「UD のグローバル展開～東京 2020 オリンピック・パラリンピックへ向けて～」をテーマに、論文発表セッションや展示会、「IAUD アワード 2014」表彰式のほか、今回は IAUD 研究部会主導での地域参加型グループ別ワークショップや市民向け公開セミナーも実施します。

お得な事前登録の締め切りは **10月10日(金)**です。

詳細内容は下記公式サイトをご覧ください↓

<http://www.ud-2014.net/>



第4回国際UD会議 開会式



オリンピック・パラリンピックのヴォランティア活動にも役立つ知識 第6回 UD 検定・初級 講習会 & 検定試験 申込み受付中！

これまで多くの方に受験いただき、役に立つと大変好評の「UD 検定・初級 講習会 & 検定試験」を、9月11日(木)に芝浦工業大学芝浦キャンパス(東京・芝浦)で実施します。

6回目となる今回も、UDに関する基礎的知識を学習する2時間の講習会(講師:古瀬 敏静岡文化芸術大学名誉教授)と1時間のUD 検定・初級試験のセット形式です。その場で学習できるので、事前の準備が不要です。

商品やサービスを正しく選択できる能力を学べるほか、地域社会や特定のニーズを抱えた人に貢献する知識を得られるなど、オリンピック・パラリンピックのヴォランティア活動にも役立ちます。

なお、合格者には「UD 検定・初級 認定証」が発行されます。UDに興味のある方、お気軽にご参加ください。

受験希望の方はこちらをご覧ください。↓

<http://www.iaud.net/event/archives/1407/25-200000.php>



第5回 UD 検定の様子(東京・芝浦)

テーマは「おもてなしー地域と未来と人を繋ぐー」

特別ワークショップ 48時間デザインマラソン in 東京 開催のお知らせ

ワークショップ委員会は、「48時間デザインマラソン in 東京」を9月9日(火)から11日(木)に芝浦工業大学芝浦キャンパス(東京・芝浦)で実施します。

今回は芝浦工業大学のご協力及び東京都のご後援のもと、「おもてなしー地域と未来と人を繋ぐー」をテーマに、2020年に東京で開催されるオリンピック、パラリンピックを見据えながら日本文化の底流に潜むUDの考え方を今一度考察し、障害のあるユーザーと一緒に調査検証を行いながらデザイン提案をします。

詳細は以下のサイトをご覧ください。↓

<http://www.iaud.net/event/archives/1407/14-111111.php>



神戸で実施した前回の様子

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4 14:30～ メディア UDPJ @NTT データ展 示場	5 13:00～ 手話用語 SWG @リコー本社事 業所 15:00～ 出展説明会 @フジヤ東京本社	6	7
8 13:00～ 実行委員会 @IAUD サロン	9 9～11日 ← 48時間 DM @芝浦工業大学	10	11 9:00～ 第6回 UD 検定 初級 @芝浦工業大学	12	13	14
15 敬老の日	16 13:00～(予定) 余暇の UDPJ @DNP 五反田ビル 14:00～(予定) 衣の UDPJ @IAUD サロン	17 12:30～ 移動空間 PJ @IAUD サロン 15:30～ 組織委員会 @渋谷セルリアンタ ワー東急ホテル	18 10:00～(予定) 衣の UDPJ @IAUD サロン	19 14:00～ ワークスタイル PJ※ @IAUD サロン	20	21
22	23 秋分の日	24	25	26 13:00～ 標準化研究 WG @IAUD サロン	27	28
29	30					

※労働環境プロジェクトはワークスタイルプロジェクトに名称が変わりました。

Newsletter では、誌面を会員の皆さまの UD に関わる情報交換の場と位置づけています。ぜひ、会員企業の UD 商品開発事例や PJ/WG の活動成果事例の情報、国内外の UD 関連イベント、シンポジウムなどの開催情報をお寄せ下さい。

次号は 2014 年 9 月発行予定

特集：組織委員会および国際会議展示説明会開催報告／UD検定中級テキストの発行

無断転載禁止

IAUD 情報交流センター (IAUD サロン) :
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-25-9 トヨタ八丁堀ビル 4 階
電話 : 03-5541-5846 FAX : 03-5541-5847 e-mail : salon@iaud.net